ロータリー：
変化をもたらす

Rotary

■ガバナー月信■

Vol. 2
2017. 8月号

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

青少年育成フットサル大会（第１グループ浦和東 RC）

国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063　埼玉県さいたま市浦和区高砂1-2-1-116　エイペックスタワー東館１階
TEL : 0488-827-0022　FAX : 048-827-0011
E-mail : ri2770@ri2770.com　URL : http://www.ri2770.com

ご挨拶

２０１７～１８年度　ガバナー
国際ロータリー第 2770 地区
ガバナー　大貫　等（上尾西 RC）

新年度がスタートし、早いもので1か月が過ぎました。皆様のクラブでは、新しい感動を得るための戦略を、もうすでに会員全員で話し合いましたでしょうか。是非とも発想を変えた意見、方向性を変えた企画に意見を傾けて、前向きに取り組んで頂きたいと思います。

さてロータリーはご存じの通り社会的な組織のひとつであり、その活動は常に前向きに目標や目的に向かって、常に前進するように推奨されております。常に進みますから、必ず今よりも進化していきます。そのための必須条件として、組織の増大、拡大は否めません。逆に組織の縮小化は、自ずと組織の弱体化、衰退を意味します。ロータリーにとって変化をしつつ、増大こそあれ決して縮小があってはなりませんし、後戻りは有りません。

前に進む進化のみなのです。そのためにも目的や目標を同じにした仲間を増やし、組織を大きくしていくことが必要です。世界平和を達成するには、世界中の人々が全員ロータリアンになれば良いという話を、一度は聞かれたことがあるかと思いますが、会員を増やすということは正にそういうことだと思います。

人のために役立ちたい、人の喜ぶ笑顔や姿が見たい、人から感謝されたい、それは決して報いを求めるものではありません。ひたすら一途に純粋な思いを持って、自分の仕事にも精を出す。我々ロータリアンに通じる皆様が、隣り近所や地元地域、学区内で探せば、そして声掛けをすれば少なからず興味を持ってくれる方はいらっしゃるのではないでしょうか。

昨年の規定審議会での見直しで、仕事を持っている職業人のみならず、以前に仕事をしていた皆様も、その時のスキルをロータリーの奉仕活動に生かすことが認められました。たとえば、以前裁縫業をしていたが今は専業主婦という方でも、その技術を生かし服を作りロータリアンとして恵まれない人に差しあげる、また電気関係の仕事に携わっていた方であれば、その技術を使い電気の不自由なエリアで奉仕が出来るようになりました。

また昨今の捉え方として、会員増強維持という表現ではなく「Attraction　and　Engagement」という英語が使われるようになっています。つまり単に会員の勧誘及び繋ぎ留めということから一歩踏み込み、ロータリアンになることの魅力を高め、会員としてクラブとの関わりや絆を深めるということのようです。

話がそれましたが、今年度ライズリーＲＩ会長は女性会員を増やしましょう（現在世界では女性会員２０％）と訴えております。またこの現状はある意味大変異常な組織であるとも懸念されております。それを受けて２７７０地区でもまだまだ足りませんが、女性会員１０％に（現在７．６％）、少なくとも女性会員ゼロクラブゼロを目標とさせていただきました。ご承知の通り女性会員が増えるメリットは、クラブ内の雰囲気が和らぐ、女性の目線での奉仕活動が増える、そしてクラブの活性化が図れると言われています。是非ともご理解を頂き実行に移して頂ければ幸いです。因みに主な国別の女性会員比率ですが、アメリカ・カナダ・台湾・フィリピン・アルゼンチン・南アフリカは３０％、ブラジル・メキシコが２５％、お隣の国の韓国でさえも１５％だそうです。人口は男女半々であり、今では会社や地域社会において活躍されている女性の割合が年々増加している傾向がある中で、当地区だけが７％と言うことはないはずです。是非とも皆様のクラブにおいても、切にお願い申し上げ、また既に１０％以上のクラブの皆様方には、今までの高いご認識に敬意を表し、更なる女性の増強をお願い申し上げます。もちろん男性新会員勧誘も引き続きお願い申し上げます。

一方、退会者を出さないためにも事前の動向の把握が大切です。例会への出席が悪くなる、奉仕活動にも参加しなくなる、懇親会にも出ないなどの行動をいち早く会員同士チェックし、早い段階で（声掛けをする、参加を要請する、参加しない理由を聞き出す、個別に面談する）その会員を輪に取り戻す、取り込むことが必要ではと思います。そしてライズリーＲＩ会長もおっしゃっておりますロータリーに入会して良かったこと「友情を育む、ビジネスの発展、奉仕活動が出来る、世の中を変化させることの喜び」を再度伝えていただきたいと思います。

この会員増強および退会防止の問題は、明日のロータリーには欠かすことのできない重要事項であります。皆様の豊富な知恵や経験を持ちより、是非クラブ内で今一度議論しシミュレーションして見てはいかがでしょうか。

クラブ研修リーダーセミナー報告

管理運営部門委員長
吉田　英一（鳩ヶ谷 RC）

大貫年度を間近に控えた6月17日（土）、川口市民ホール「フレンディア」において2017～2018年度・クラブ研修リーダーセミナーが開催されました。浅水ガバナーを始め大貫ガバナーエレクト、三國次年度研修リーダー、中川ガバナーノミニー（何れも当時の役職）、次年度ガバナー補佐・部門委員長、各クラブの次年度研修リーダー、会長エレクトの皆さんで、登録者は100名を超えました。受付後、12のテーブルに分かれて着席して頂き、ディスカッションに備えて頂きました。

大貫エレクト、三國次年度研修リーダーにご挨拶頂き、私からは「規定審議会とは」としてRIの作成した映像の紹介、その後「リーダーシップ」について、そして「クラブ研修リーダー」について次年度熊木クラブ活性化委員長がお話しさせて頂きました。クラブ研修リーダーの誕生の経緯や目的、役割や研修会の計画方法等、多岐にわたり駆け足で皆さんに説明させて頂きました。

後半のテーブルディスカッションでは、皆さんに以下について討議をして頂きました。

「クラブ内の研修について」

【クラブ内研修を継続しているクラブのその内容・方法、効果。クラブ内研修を検討しているクラブの今後の取り組み方。クラブ内研修をしていないクラブのその理由。】

「クラブ運営の実情について」

【規定審議会の決定事項の「柔軟性」（例会頻度、出席要件、会員身分等の変更）を取り入れたクラブのその方法と効果。「柔軟性」の取り入れを検討しているクラブの進捗状況。従来通りの運営を継続するクラブのその理由。】

発表は7つのテーブルに。各テーブルとも、持ち時間をオーバーする勢いで事例等をご披露して頂きました。各テーブルのディスカッションの内容はあらためて皆様にご紹介致します。

クラブの活性化には、クラブの実情に合わせた研修が必要です。新会員のみならず、ベテランの会員さんにも適した研修の方法もあるかと思います。ご出席のクラブ研修リーダーの皆様には、自クラブ活性化のためリーダーシップを発揮して頂いて、楽しいロータリークラブを作り上げて頂ければと思います。

RIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」、そして地区運営方針の「新たな行動　新たな感動」の実現に向けて、皆様のますますのご隆盛をお祈り申し上げます。

「我がクラブ」第１グループ

青少年育成フットサル大会！

第１グループガバナー補佐
半田　正一（浦和東 RC）

浦和東クラブでは、１２月第一日曜日に青少年奉仕部門の事業として「浦和サッカー少年団フットサル大会」を実施しています。本大会は22年前に浦和東ロータリークラブの社会奉仕事業として、さいたま市南部少年サッカー指導者協議会様に相談し、さいたま市立浦和高校様や保護者の皆様などのご理解、ご協力の下、1996年に第１回大会を立ち上げ、まだ用具も不十分で、５年の歳月をかけてゴールやゴールネットなどを揃えながらの開催でした。2016年は21回目の開催となり、クラブ会員が準備から、当日の運営の手伝い、後片付けまで全員で行いました。大会に参加する選手は小学校４年生の児童で、約７００名余りがチームプレー、フェアプレーで白熱した試合に応援に来た約５００名の保護者は大歓声を上げていました。本大会を経験してＪリーガーや指導者となった参加者も多く、少年たちに夢と希望与えている大会となっています。併せて、参加した保護者やサッカー指導者の皆様にロータリークラブの精神を伝え、公共イメージアップに貢献できたものと感じています。

「我がクラブ」第２グループ

浦和北ロータリークラブ紹介

第２グループガバナー補佐
福田　剛紀（浦和北 RC）

メーキャップにいらした方の中には、例会場に若い会員の姿が多いのに驚かれる方も。当クラブは創立56周年を迎えましたが、ここ数年で平均年齢が50才代にまで若返りを果たしました。これからの親睦と奉仕活動とが益々楽しみです。

＜奉仕活動について＞

・浦和北部地区の小学校卒業生の中から1日も休まず通学した卒業生と保護者に対して毎年３月に表彰式を開催しています。近年は対象を中学校卒業生９年間皆勤にまで広げ、30年も続く浦和北ＲＣ伝統の社会奉仕活動です。

・見沼地域の耕作放棄地を減らす為に、畑を借り受けて会員が交代で手間を惜しまず農作物を育て啓蒙活動を行っています。秋には収穫祭と称して芋掘り体験とバーベキューを行い、青少年交換留学生や地元福祉施設からもご参加頂き200名を数える盛況振りです。

・焼畑農法を行っていたタイの山岳民族では、環境破壊が進み経済的困窮に陥っていました。そこで現地へ赴き農作物の栽培と養豚を指導して成果を上げています。近年は良質のコーヒー豆が収穫出来るようになり、その一部を浦和北クラブ会員が購入する事で利潤をもたらしています。

・青少年交換では前年度からエミリアとジョーの２名をホストしています。また過去に米国で相撲大会の王者に輝き、今は日本の大学で留学中の米山奨学生ラニアンをお世話しています。

このように浦和北ＲＣは若い会員による活動が活発で、自由な雰囲気の楽しいクラブです。

皆勤表彰式

収穫祭

「我がクラブ」第３グループ

大宮南ロータリークラブ紹介

第３グループガバナー補佐
柴田　覚（大宮南 RC）

我が大宮南ロータリークラブは1978年6月15日に大宮ロータリークラブを親クラブとして、チャーターメンバー29名で創立されました。1980年3月15日に、大宮開成高校にインターアクトクラブを結成。現在に至っています。東日本大震災ではインターアクトクラブメンバーが自ら募金活動をし、300万近い募金を集め、その活躍でRI会長賞を授与された。　その後も東日本豪雨災害募金・ネパール大震災募金・熊本震災募金など、活動は地区内でも一目置かれる存在になっています。卒業後もメンバーは社会奉仕団体に籍を置いて活動していることを踏まえ、来年6月に創立40周年を迎えることを契機に、インターアクトの受け皿として、ローターアクト創立に着手します。インターアクトの創設時の会長が清水良朗会長のご尊父晃氏であることを考えると、縁は不思議なものです。また、台湾永和ロータリークラブとは、1982年9月7日に友好関係を締結。現在も毎年交互で交流している。

学友の窓

財団奨学生　それは世界人類に奉仕するロータリーの投資

RI2770 地区学友会長
服部　純一（1981-82 アメリカ合衆国留学・浦和西 RC 推薦）

昨年度本学友会はロータリー財団100周年を記念して、学友によるシンポジウムを開催しました。双日総合研究所相談役の多田幸雄さん、信州大学教授の浅見崇比呂さん、など各分野で活躍されている経済や科学、教育の専門家が結集しました。日本ロータリー学友会のシンポジウムでは本邦2人目の財団奨学生だった緒方貞子さんの薫陶を受けた世界の人道支援に活躍する学友が結集し、その中には現在国連事務次長として活躍されている中満泉さんも参加されました。

私が1981年にアメリカ合衆国で自閉症・発達障害児への教育に留学させていただいた時、ジョージア州で開かれたロータリー語学研修上に集まった当時の財団奨学生のお友達写真ですが、現在大学の教授や前の総務大臣として活躍している人たちばかりです。その当時どんな人間になるかわからなかった20代の若者ですが、40年近く前の皆さんの投資が現在大きな社会貢献として活躍できる人材に育ちました。投資（stock）には「蓄える」という意味もあります。財団奨学生は、ロータリークラブに即物的に貢献できていないかもしれませんが、世界人類に奉仕するロータリーの理念に関しては大いなる投資です。是非これからも財団奨学生への投資にご理解とご支援をください。

学友の窓

浦和北ローターアクトクラブ活動報告

2017～2018年度地区広報
龍門　理恵（浦和北RAC）

浦和北ローターアクト会長の龍門理恵（りゅうもんりえ）です。アクトに入会してから1年半くらいなのですが、2016～17年度クラブ会長をさせていただいています。ただいま会員は18人と、大所帯のクラブになっています。

浦和北RACは、第3木曜日の20:00より、月に一度定例会を行っております。会員の専門知識を話す卓話や、提唱ロータリーの浦和北RCのロータリアンに卓話をお願いして、普段聞けないような話を聞く機会をいただいています。

社会奉仕活動として、福島で農家をしている方を埼玉にお招きして、東日本大震災からの、今の状況を伝えていただく講演会を開催いたしました。その講演内容ももちろんですが、その企画・運営を行うことも、私たちには大変勉強になりました。

引き続き活動を活発に行っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

学友の窓

「初めての韓国研修」

県立吉川美南高校 IAC
上田　楓

今回の韓国研修は、貴重な体験ばかりで、心に残ることが沢山ありました。

私は、6人で同じ家庭にホームステイしました。人数が多かったので、最初はとても不安でした。しかし、ホストマザーが私たちに沢山の愛をくれたおかげで、みんなと楽しく生活を送ることができました。ホストファミリーと過ごしている時は、私たちが行きたい場所に連れて行ってくれました。ホストマザーの作る家庭料理は、愛情がたっぷりこもっていてとてもおいしかったです。お風呂あがりには、一緒に買った顔パックをみんなでしながら、テレビを見たり会話をしたりと、本当の家族のように楽しい時間を共有することができました。

現地の高校生との交流では、私が想像していた以上に、皆さんフレンドリーに接してくれました。ペアを組んだ生徒とは、初めて会ったとは思えないほど仲良くなれました。

私たちが準備した発表も、一つ一つ真剣に見聞きし、時には大きな声援もくれて、本当にやりがいを感じました。ペアの生徒以外の方とも友達になれて、日本語で書いてくれたメッセージカードを沢山もらいました。日本から来る留学生のために、一生懸命日本語を勉強してくれたのだと思うと、私はとても胸が熱くなりました。

韓国の高校の給食を食べたことも興味深かったです。その時は、みんなと会話しながら食べる給食はおいしいな、としか考えていませんでした。しかし振り返った時に、外国の学校給食を食べるという、貴重な体験をしたのだと気づくことができました。日本と韓国との相違点を話す上で、有意義な実体験の一つとなりました。

このように、5泊6日という短い期間でしたが、貴重な体験ばかりで、心に残ることが沢山ありました。また、日本に帰った後も、お世話になったホストファミリーの方々と連絡を取り合えていることがとても嬉しいです。

最後に、私の研修に携わってくださった多くの方々に感謝いたします。ありがとうございました。

２０１７～２０１８年度　国際ロータリー第２７７０地区
地区大会記念ポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会のご案内

実行委員長
大國　博（上尾北 RC）

２０１７～２０１８年度、大貫　等ガバナー年度がスタート致しました。本年のＲＩテーマは『ロータリー：変化をもたらす』と “私たちがロータリーにとどまり続けるのは、ロータリーで充実感を得ることができるからです。この充実感は、毎週、毎年、「変化をもたらす」ロータリーの一員であることから湧き出てくるものです。” とイアンＨ．Ｓ．ライズリーＲＩ会長は綴っております。新しい一年の始まり、そして１１月１１日１２日の地区大会に先立って『２０１７～２０１８年度地区大会記念ポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会』を別記にて開催いたします。上尾北ＲＣ、地区ゴルフ実行委員会一同は、参加者の皆様が会員相互の親睦を深め、楽しい一日を過ごして頂く様最善の努力を盡す所存でございますので、７３クラブ会員、地区役員の皆さま奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

◎開催日：平成２９年１０月１６日（月曜日）【雨天決行】
◎開催コース：
　プレステージカントリークラブ　東・西コース（３６ホール貸切）
　栃木県栃木市梓町４５５－１　　ＴＥＬ　０２８２－３１－１１１１
◎参加人数：地区内７３クラブ（１クラブ４名又は８名）

文　庫　通　信（359号）

http://www.rotary-bunko.gr.jp

地区大会講演より

◎「Rotary －かえりみて、あすを考える」 久野 薫　2017　16p（D.2630 地区大会）
◎「ロータリアンの矜持」 藤川享胤 2017　8p（D.2590 地区大会の記録）
◎「2020 年東京オリンピックのレガシーとロータリーの多様性」 水野正人　2017　7p（D.2590 地区大会の記録）
◎「危機管理の人生」 安斎 隆〔2017〕12p（D.2530 地区大会記念誌）
◎「2030 年、そのとき日本は」 国谷裕子〔2017〕2p（D.2640 地区大会記録誌）
◎「みどりの力で心の復旧・復興を」 涌井雅之 〔2016〕 11p（D.2530 地区大会記念誌）
◎「人はどうがんと向き合うか？」 垣添忠生　2017　4p
（D.2710 地区大会特集号）
◎「青森県の短命県返上活動の現状」 中路重之　2015　7p
（D.2830 地区大会記録誌）
◎「障害者アートで社会を変える」 播磨靖夫 〔2016〕 5p
（D.2640 地区大会記録誌）
◎「フランス人から見た日本文化のあれこれ」リシャール コラス　2017　4p
（D.2780 地区大会報告書）

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫
〒 105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル３階
TEL（03)3433-6456
FAX（03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前 10 時～午後５時
休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー第2770地区 4グループ合同
埼玉県知事・さいたま市長表敬訪問

第1グループ～第4グループのガバナー補佐及び会長他で
7/11（火）に埼玉県知事、7/13（木）にさいたま市長を表敬訪問して来ました。

平成29年7月11日（火）16:10～16:30
埼玉県庁　庁議室

平成29年7月13日（木）14:00～14:30
さいたま市役所　政策会議室

Rotary
Zones 1 & 2 & 3

コーディネーター
NEWS

2017年8月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■ 各ゾーンにはロータリーコーディネーター（RC）、ロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）、ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）、恒久基金／大口寄付アドバイザー（EMGA）の3人のコーディネーターと1人のアドバイザーが国際ロータリーから任命されています。私どもの役割は、研修者、コンサルタント、アドバイザーとして、ガバナーと地区チームの皆さまをサポートすることです。会員の入会と参加の促進、地域社会でのロータリーの推進、ロータリー財団の支援を通じて国際ロータリーの戦略計画を遂行するために、ガバナーの皆さまと地域リーダーがチームとなって協力することが重要となります。従いまして、地区セミナー、地区大会、PETS、地区研修・協議会などにおいて、それぞれの分野に関するプレゼンテーションを行うことのできる機会がありましたら、お手伝いをさせていただきます。コーディネーター、アドバイザーおよびコーディネーター補佐一同、今年度が皆さまにとって実り多い1年となることを願っております。

第1ゾーン　ロータリーコーディネーター　酒井正人（RID2510:函館五稜郭RC）

RCの主な役目は「クラブのサポートと強化」で、特に会員増強に向けた支援であります。しかし、ご承知のようにゾーンの再編が行われ、日本は2.5ゾーンに縮小されることになります。これを元に戻すためには約6千名の会員を純増しなければまりません。日本には2千強のロータリークラブがあります。5年間で各クラブが純増3名を達成できれば決して夢のような話ではないと思います。みんなで頑張りましょう。

第1ゾーン　ロータリー公共イメージコーディネーター　鈴木秀憲（RID2570:吹上RC）

公共イメージと認知度の向上のために行うべき事は、①我々ロータリアンの活動について　②世間へ発信する内容について　③世間へ発信する方法について　の三つに分けられると考えます。単に広報するのではなく、「世間の方々に良いイメージでロータリーについてご理解頂く」事が大切です。この観点から、今後上記①,②,③について、皆様と共に考えたいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。

第2ゾーン　ロータリーコーディネーター　田中正規（RID2760:西尾RC）

昨年4月の規定審議会はロータリーの歴史上の転機と言われています。すなわちクラブの裁量が大きくなり、柔軟性が増しました。柔軟なクラブ運営（例会の形式の多様化、出席要件の緩和、異なる会員種類の提供、例会スケジュールの変更等）とクラブの強化が求められています。それには例会の充実、多くの会員のリーダーシップの発揮、ビジョンの作成、新会員の指導等があります。戦略計画に基づき、目標設定、行動計画の立案、実行が必要とされます。そのために、RIから多くのリソースが提供されています。私たちゾーンのロータリーコーディネーターも利用してください。

第2ゾーン　ロータリー公共イメージコーディネーター　渡辺治夫（RID2780:横須賀RC）

国際ロータリー第2ゾーン「ロータリー公共イメージコーディネーター」という身に余る重責に身の引き締まる思いでおります。RPICの任務に初めて取り組みますが、誠心誠意務めてまいりますので皆様のお力添えを賜りたくお願い申し上げます。イアンH. S. ライズリーRI会長は、「ロータリーとは何ですか？」という問いに「自らの〝行動〟によって答えましょう」と述べました。そしてRIは「People of Action（世界を変える行動人）」公共イメージキャンペーンをはじめています。このキャンペーンに則り、行動を持って「公共イメージと認知度の向上」に取り組んで参りたいと存じます。

第3ゾーン　ロータリーコーディネーター　若林紀男（RID2660:大阪東RC）

愈々新年度が始まり、ガバナーの皆様には勇躍の思いを持って任務に就かれておられると存じます。RIの会長は年ごとに替わっても常に会員基盤の強化推進を提唱されます。日本に於いても「会員増強」は喫緊の課題であり、地区・クラブでは大きなウェイトをかけて取り組み続けておられます。本年度第3ゾーンのリーダーの方々と共に、地道にクラブ活性化→会員維持・会員増強の成果をあげる為、ARCによる地区別専任担当制を用いてご協力させていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

関西地区担当　高島凱夫(D2660)　中国地区　伊藤 文利(D2690)　九州地区　穴井元昭(D2700)

第3ゾーン　ロータリー公共イメージコーディネーター　横山守雄（D2660:大阪中央RC）

昨年度一年目はRPICとして、どの様な活動が各クラブと各地区にメリットを齎すことができるのか暗中模索の状態からスタートいたしました。ゾーン内各地区の皆様と対話を重ねることによって、各クラブや地区のニーズが次第に汲み取れるようになりました。近年、ロータリーの公共イメージと認知度の向上活動、そしてRI・地区・クラブ運営のIT化が加速しております。新年度はギアアップを図り会員の皆様に少しでもお役に立てますように努力いたします。引き続き皆様のご協力を宜しくお願い申上げます。